

●スガモフラット

ひさしぶりにファミリータイプに空室が出ました！

1LDK 48.16㎡ 135,000円

所在地：東京都豊島区巣鴨5丁目
 共用部分：COMMONスペース（リビング、ダイニング、キッチン）
 ランドリー、洗濯干し場、ガーデン、ゲスト用トイレ
 最寄駅：JR山手線「巣鴨」駅から徒歩13分
 都営三田線「西巣鴨」駅から徒歩6分
 都電荒川線「新庚申塚」駅から徒歩2分
 共益費など：居住者組合で決めて運営、居住者で分担
 居住人数：23名程度（大人+子ども）

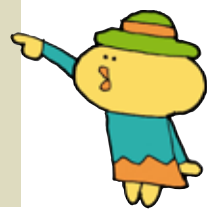


お知らせ

居住者のブログ・FB・インスタグラム

実際の暮らしの様子はコチラから
 スガモフラット
<https://blog.goo.ne.jp/sugamos2014/>
<https://www.instagram.com/sugamons212/>
 コレクティブハウス聖蹟
<https://www.facebook.com/ch.seiseki/>
 コレクティブハウス大泉学園
http://blog.livedoor.jp/ch4_oizumi/
 タウンコレクティブ南小岩
<https://www.facebook.com/tc.koiwa/>
https://www.instagram.com/minami_koiwa

その他の空室情報はこちら



毎週木曜午後は OPEN DAY

会員のみなさんにお気軽にお越しいただけるよう、毎週木曜午後はオフィスオープンデーとしています。事務局メンバーがおりますので、お話をしながら、関連書籍や資料などもご覧いただけます。近くにお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

※事前に事務局までご一報ください。
 TEL: 050-3188-7550 / E-mail: info@chc.or.jp



Facebookページも公開中！

居住者☆通信

コレクティブハウス大泉学園

蜂と熱い夏の日 ～蜂の巣退治隊出動記～

ある夏の日、メーリングリストに「駐輪所に蜂の巣があります！」と投稿があり驚きました。確かに今年は蜂を見かけることが多かったのです。のん気に構えていたのですが、まさか巣を作っていたとは…。「駆除した方がいい」「業者には頼めないかも」意見が飛び交う中、「アシナガバチですね。以前、自分で駆除したことがあるので、やりませよ」とNさんから力強いメール！これがきっかけで、有志で駆除作業をすることになりました。アシナガバチはさほど危険ではないのですが、今回は居住者がよく通るところに巣があるので、駆除することにしました。

翌日、Sさんから「作業は手伝えないけど、カレーを作って応援します！」とメールが。一丸となって蜂の巣に立ち向かうムードが高まってきました。

日が暮れて夜。まずは、SさんとAさん作の美味しい夏野菜カレーと春雨サラダを食べて、エネルギーをチャージ。「蜂の巣退治隊」5人は、長袖長ズボン・帽子・マスクなどを装備して再集合、いよいよ蜂の巣に向かいます。「蜂はどうか」「おとなしくしているみたい」蜂を刺激しないよう、小声になる隊員。

「じゃ、いきます」Nさんが殺虫スプレーを噴射、シャーっという音とともに巣が殺虫剤の煙に包まれます。ブンブンと羽音がし、隊員に緊張が走ります。しばらく待って、巣から蜂が出てこないことを確認し、Yさんは地面に落ちた蜂を観察。その後、Kさん（男性）が巣をたたき落とし、Kさん（女性）がゴミ袋に回収した巣を念入りに踏み潰し、作業は終了。無事に済んだことにホッとしました。結局、筆者は後ろでハラハラ見ているだけだったのですが、Nさんが「一人でやるよりみんなできてよかった」と言ってくれ、救われました…。翌朝、Nさんが残りの後片付けをしてくれ、完了となりました。最初はどうなることかと思いましたが、終わってみれば、今年の夏の楽しい思い出になったと思います。



「投稿コーナー」投稿募集

話題にしてほしい記事を皆様より募集しています。投稿はペンネームを添えて、collecollego@gmail.comまで。

「これこれ新聞」編集サポーター募集！

これこれ新聞編集部では写真を撮ったり、記事を書いたり、アイデアを出して下さる、サポーターを募集しています。collecollego@gmail.comまでご連絡ください。

【編集後記】コロナ禍の中、どんな記事を皆さんにお届けしたら良いか、編集部でアレコレと、あるいはやっぱりコレコレではないかと、話し合っていたそんなところに、「まちなもり本町田」が「グッドデザイン賞」と「キッズデザイン賞」、ダブル受賞のお知らせが舞い込みました！何とおめでたいことでしょう！やったー！！「まちなもり本町田」の皆さま、本当におめでとうございます！（編集部員T）



隔月刊 CHC

これこれ新聞

【リレー連載】わたしが思うコレクティブハウスとは：人間というふくむぎつな生きものがキライではない、どちらかと言えば楽観的な人たちの集まり。ふつうに必要なことを話しあい、補いあい、ひとりじゃできないこともできると思い、今風・長屋暮らしを探している。（居住会員Kさん）

コレクティブハウス本町田が2020年度キッズデザイン賞優秀賞 少子化対策担当大臣賞を受賞しました！



さらに2020年グッドデザイン賞も！

「まちなもり本町田」が2つの賞を受賞したことを大変うれしく思います。関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。

誰もが孤立しがちな現在の日本社会において、住民同士で共に暮らしをつくる「コレクティブハウス」は、生活の場面における多くの課題を自分たちで解決する可能性のある住まいです。居住者の一人として、住まいで人とつながることの安心感は、何よりもその人の人生を豊かにしていくと感じています。我々はこれからも、住まいを通して、人と人が関わる豊かさを創り出していきます。

5年後、10年後、20年後も風通しが良く、心地良い「まちなもり本町田」であり続けられるように、そこに暮らす人々や地域の人々とともに、暮らしづくり、地域づくりに関わって行きたいと考えています。

コレクティブハウジング社 代表理事 宮本諭



■2020年度キッズデザイン賞 受賞概要

受賞作品名
 まちなもり本町田
 賞名
 優秀賞 少子化対策担当大臣賞（子どもたちを産み育てやすいデザイン 地域・社会部門）
 受賞企業・団体名
 株式会社コプラス／特定非営利活動法人コレクティブハウジング社／相互住宅株式会社／株式会社アルコデザインスタジオ
 受賞理由

企業の寮であった施設をリノベーションした、新たな家族構成、地域構成、コミュニティづくりのビジネスモデルとなる、ハイブリッド型の集合住宅である。コミュニティの希薄化や地域ぐるみの子育てへの関与の減少といった社会的背景を鑑み、コミュニティを醸成する生活者同士が子育てに参加する仕組みを、集合住宅のモデルからアプローチした斬新な試みだ。コミュニティの中に子育てが当たり前にある新たな暮らし方の姿は、施設内に留まらず、地域そのものにもインパクトを与えるに違いない。



■2020年度グッドデザイン賞 受賞概要

固有名称／一般名称／応募カテゴリ
 まちなもり本町田／賃貸共同住宅／中～大規模集合住宅
 受賞者
 株式会社コプラス／特定非営利活動法人コレクティブハウジング社／相互住宅株式会社／株式会社アルコデザインスタジオ



グッドデザイン賞審査委員評価コメント

集合住宅において、若い世代から子育て世代、高齢者まで多世代のコミュニティが大切だと叫ばれて久しいが、社会の中で実際の取り組みは少ない。賃貸住宅であればなおさらである。築27年の独身寮をフルリノベーションした、まちなもり本町田は、コモン付き賃貸とコレクティブハウスを同居させ、多世代かつ多様な入居者と地域のコミュニティを育てていく、賃貸集合住宅である。入居者全員が利用できる広めのラウンジが各階に点在し、一部が地域にも開放されて、さまざまな交流が促される仕組みになっている。コロナ禍の最中に賃貸募集が始まり影響も受けていると聞いたが、この新しい試みは社会に一石を投じることと思う。ぜひ10年後、成長したまちなもり本町田を見てみたいと思う。



これキャン2020 in 本町田

コロナ禍でお出かけしにくい今年の夏。それならせめても8月14日、「なんちゃってキャンプ」をCH本町田で開催！各ハウスから思い出を語ってもらいました。



コレクティブハウス聖蹟居住者Mさんより

「今年はコロナで夏休みっぽいこと全然できなくてつまらないなあ〜」なんて思っていた夏休み前のある日の夜、CHCのKさんから「コレクティブハウス本町田で、『なんちゃってキャンプ』やりませんか？」とお誘い。

「本町田もまだ行ったことないし、子供の夏の思い出作りにも良いし、ハウス間交流も出来て、ご飯は火を起さなくてもコンモンキッチン使えるし、バッチリじゃん！」と思い、早々と参加表明。ミールも最近ハウスのコンモンミールで作って好評だったスープカレーを作りますよ〜と意思表明。今年はどんなキャンプになるのかな〜と、思いがけず入ってきた夏の風物詩イベントにワクワク。

まずは参加表明していた家族でZOOM打ち合わせ。テントを張って寝るだけでも、子供たちは非日常感を味わえて楽しめると思うけれど、ここぞとばかりに夏のイベントを詰め込みました。

スイカ割り、かき氷、プール、ヨーヨー釣り、バナナトラップ(カブトムシ捕獲用)、花火、ジブリ映画上映、ハウスで宝探し等等…そんなに全部こなせるんかい!?という感じのコンテンツだったけど、終わってみれば大人たちのコーディネート?のおかげもあって、全てこなして、子供たちも楽しそうだったな。

一方、料理組は巣鴨と聖蹟のメンバーを中心に、新しいコンビオープンで「あーでもない」「こーでもない」と言いながら使ったり、ヨーグルトと牛乳と砂糖を混ぜ合わせて作るラッシュードリンクを見て、「こんなに砂糖入ってるのか」と驚いてみたり、なんだかんだミール作りは楽しい。

総勢大人15名、子供6名も集まり、「ワイワイガヤガヤ」とミール囲んで談笑。夜は思ったより寝苦しくて。。。「やっぱり来年は本物のキャンプ場がいいよな〜」なんて思いながら、コロナ禍の思い出としては、「それはそれで良かったよな〜」と振り返っています。

写真をあとでgoogle photoで皆で共有すると、皆子供たちがいい顔してるんだ。それがやっぱり一番だね。また来年もやりましょうコレクティブキャンプ!(CH聖蹟居住者M)



コレクティブハウス大泉学園居住者Nさんより

本町田に見学に行った去年12月と比べると、すっかり素敵な空間になり、特にキッチン本格格的なコンベックオープンや食洗機など、ガスコンロ以外は全て家庭用の大泉と比べると立派なレストランが開けるくらい立派で、ただただ羨ましかったです。

当日は夕食を食べるところから参加しました。メニューはスープカレー、ゴーヤサラダ、ラッシー、スイカ。聖蹟Mさん他数名が約二十数名分作ってくれました。カレーは焼き野菜の彩りもよく、サラダはゴーヤの苦味がマヨネーズでマイルドになっていてとても美味しかったです。食後のミニケーキでのお誕生日祝も素敵でした。

私は4月に大泉に入居したばかり、他のハウスの方との交流も初めて、大泉からは私だけの参加、ほとんどの方が"はじめまして"でした。元々おしゃべりがそんなに得意なわけでもなく、あまり多くの人とお話できなかったなと反省です。ただ全く知らない人ではなく、コレクティブの居住者として同じ生活スタイルを自ら選んで集まっているという大事な根っここの部分で繋がっている安心感があり、このコロナ禍でミールどうしてる? オンライン見学会ってどうやるの? など、日頃の疑問を他のハウスの方に聞くことができました。

子ども達も巣鴨と聖蹟から6ヶ月〜小学生と数多く参加していて、とにかく賑やかでござ混ぜになって遊び、親以外の大人もお世話をしたり注意したりしていて、みんなで一緒に育てている様子は素晴らしく、世の中のワンオペや虐待など育児で悩んでいる人にもぜひ知ってもらいたいと思いました。

本町田は敷地が本当に広く、吹き抜けを利用して壁にDVDを大きく写したり、中庭にも余裕で2つテントが張れました。でもさすがに熱帯夜で暑くて眠れなかったようですね、そんな中申し訳ないと思いつつも私はゲストルームを独り占めしエアコンの効いた涼しい部屋で快適でした。朝食はキャンプらしいハムチーズホットサンドと野菜たっぷりスープ、私はホットサンド作りをお手伝いしました。来年の夏休みは本当の野外でキャンプができるといいですね。計画や準備、買い物などをしてくださった皆様ありがとうございました。(CH大泉学園居住者N)



コレクティブハウス本町田居住者Mさんより

他のハウスの方と直接交流ができる数少ない機会と思い、参加を決めました。実際に参加をしてみて、思っていた以上に楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

私は普段は介護福祉士として施設勤務をしており、高齢者と接することが多く、スタッフ以外で日頃年下の方と話すことが少ないため、同年代や年下の方と日常的な会話ができてよかったです。

本町田は敷地内の空き地には雑草が高く生い茂り、今後どうしていくかが大きな課題なのですが、スガモのTさんという方と話すうちに彼が造園業営んでいらっしゃる事がわかり、今後の参考となる話を聞くことができました。私がコレクティブハウスへの入居を決めた一因として、様々な職業の方と知り合い、様々なきっかけづくりができるのではないかと考えたことがありますが、まさにTさんもそのようなことを言っていました。将来的に独立を考えていたが、巣鴨の他の住人の方と話すうちに、「いつかは独立を」と考えていたのが、背中を押されるように思っていたよりも早く独立を決め、現在があるとのことでした。通常の賃貸住宅の生活で、「隣は何をする人ぞ」という感じで、日常の挨拶止まりで、なかなかそれ以上の深い話をする機会はないと思いますが、コンモンではミールを通じて、日常の挨拶以上の交流が可能です。

そのミールですが、今回は聖蹟の方が夏野菜のスープカレーとゴーヤ、ツナ、タマネギのサラダを作ってください、一緒に食事を楽しみましたが「なんじゃこりゃ!?!」と美味しさに驚きました。その理由は、隠し味に味噌を入れていたことだとわかりました。こういった細かいことも、一緒に食事をしてこそわかること。

夜は子供たちと花火を楽しみました。隣の家の方もお孫さんとベランダから花火を眺めながら楽しんでいました。私は独身なので、こういった機会も普段ほとんどないので、つかの間の親戚のおじさん気分を味わいました。日頃のルーティンの中のアクセントとなる数時間、ありがとうございました。

居住者☆通信

スガモフラット

新型コロナで、こどもたちと話し合い

新型コロナの流行拡大、各ハウスでも様々な変化があったと思います。スガモフラットでも、ここ半年間、共有部の使い方やミールの運用など、ひとつずつ模索してきました。マスクやソーシャルディスタンスも、今でこそ定着してきましたが、当初は情報も少なく、慣れるのに時間もかかり、戸惑ったものです。

大人でさえ四苦八苦。ましてや、急な休校や、新たな生活ルールを言い渡された子どもたちも大変です。学校で感染防止策について教わっていても、コンモンに集まると、ついつい仲良くタブレットを覗き込み、マスクはどこへ飛んでった…ということも。気持ちは理解できます。子どもたちにとっても、コンモンは顔の見知った居住者同士で過ごす、家庭の延長線だったのでから。

しかし感染予防の観点では心配です。ある日、何とかしよう!と思い立った居住者数名。ダイニングテーブルの椅子を減らし、ソファの真ん中にx印をつければ・・・と動いているうち、こんな意見が出ました。

「コンモンを変える前に、子どもたちときちんと話し合おう。」
大人たちの決定で急にルールが変われば、彼らにさらに息苦し

CHCの活動 (2020年7月~9月)

<7月>

- 7/2 タウンニュースに取材いただきました
- 7/7 目白オフィスの荷物を、レンタカーで自前で町田まで運搬
- 7/9、29 中川寛子さんに取材いただきました
- 7/11 「まちだ自然エネルギー協議会」の方々の活動のガイダンスをコレクティブハウス本町田の居住者とCHCがオンラインで。今後のイベントコラボ企画などの相談も。
- 7/14 町田の子育て冊子「らぶふあみ」のスタッフの方々に、「まちなもり本町田」をご案内し、今後のコラボについて相談
- 7/31 7年間お世話になった目白オフィスを退去引き渡し

<8月>

- 8/1 CH本町田初コンモンミール開催
- 8/14、15 CHCコレクティブキャンプ2020 ~今年はまちなもり本町田で開催!
- 8/19 グッドデザイン賞 zoomにて面談審査

<9月>

- 9/5 町田見学会&子どもWS ~生け花
- 9/5 京都の「ねコレクティブ」さんのCHオンライン見学会、海外からも参加
- 9/6 町田見学会&子どもWS ~食品サンプル
- 9/13 町田見学会&子どもWS ~ソーラー工作
- 9/18 町田「双方形」にて、「まちなもり本町田」でのマルシェイベントなど相談
- 9/26 コレクティブハウス&タウンコレクティブ 第1回ハウス間zoom交流会開催
- 9/27 「まちなもり本町田」居住者全体交流会
- 9/30 キッズデザイン賞授賞式



い思いをさせることになる。何より、彼らも居住者の一員。大人たちは少し立ち止まり、子どもたちと話し合いをすることにしました。

さあ、どうやって進めよう? 当時、小学校は夏休み。大人たち、こども掲示板に「コンモンの使い方についてお話ししたいです」と記入。子どもたちも「今日の午後でどうですか?」と早速のお返事。彼らも、何となく気にしていたようです。2回の話し合い(ZOOMも活用)を経て、子どもたちの手で「コンモンのルール」が決まりました。彼らにとっては、他人と暮らす空間を考える機会に、大人にとっては、子どもたちの存在を尊重することを再度考えるきっかけとなりました。

感染症の脅威という初めての体験。コロナ禍では、休校中の子を隣部屋の大人が見守っていたり、協力して安心できる空間づくりをするなど、コレクティブハウスの良さを再認識する場面も見られました。この長いトンネルを、居住者仲間とともに、乗り切りたいと思います。